

会議名	平成28年度図書館協議会議事録
日時・場所	平成29年3月8日(木) 午後3時開会・同4時30分閉会 会場：市立図書館視聴覚室
出席者	(委員) 土岐委員 桃井委員 鈴木(正)委員 杉本委員 江部委員 鈴木(二)委員 長峰委員 榎本委員 (出席8名) (事務局) 岩村教育長 田澤生涯学習課長 鈴木生涯学習課長補佐 山寄係長 渡邊主任 (計5名) (傍聴者) 1人(途中入室)
議題	議題(公開) (1) 平成27年度図書館統計の実績報告について (2) 平成28年度図書館事業実施報告について (3) 平成29年度図書館事業計画(案)について その他
田澤課長	定刻を過ぎましたので、ただいまから阿賀野市立図書館協議会を開催させていただきます。本日の会議は午後3時から4時30分の1時間半を目途に予定させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。  (併せて、録音等のおしらせ) なお、この会議は、阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に該当する協議会となりますので公開としたいと思いますが、よろしくお願いいたします。 なお、公開の方法は、傍聴による公開とさせていただきます。今現在の傍聴者の出席はありませんが、よろしくお願いいたします。 なお、議事録などにつきましては、レコーダーで録音いたしまして阿賀野市のホームページ等で公開させていただきたいと思っております。
岩村教育長	それでは、始めに岩村教育長からご挨拶を申し上げます。  みなさんごめんください。阿賀野市教育長の岩村でございます。図書館協議会の開催にあたり一言ご挨拶をさせていただきます。 本日は年度末の大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

さて、近年ゲーム機やスマホ、タブレットといった電子メディアが全国的に普及し、子どもたちが読書に親しむことを阻み、読書離れに拍車をかけていると言われております。

こういった状況を具体的に改善していくためには、読書ができる環境がとても大事だと思います。そして地域社会全体で持続的に子ども達に読書の大切さを知らしめる環境づくりが望まれます。そういった意味で図書館は、様々な知的活動を増進して人間形成上極めて大切な役割を果たしていると思います。年齢を超えて読書は、自分への気づきを促し、自分と世界繋ぐ架け橋の役割を果たしております。

(読書は) 私たちをより広い世界に導き、とりわけ幼少年期における本との出会いは子ども達の心に生きる喜びを与え、そして未知の世界に気づかせ、他者への共感の心を育むと言われております。

安心して浸りきる読み聞かせの時間や本により触発された自由な想像力への旅を誘う体験こそが子どもが言葉を学び、そして感性を磨き、表現力を高めたり、想像力を豊かなものにして生きる力を身に着けることに繋がるものと考えています。

阿賀野市におきましては、時間軸をお母さんのおなかの中にいるとき、そして乳児、乳児期、幼稚園・保育園、小学生、中学生、高校生、そして社会人ということで、家庭から幼稚園・保育園、学校、そして図書館等においてどのように読書の関係づけを推進すべきか、これまで5か年計画を策定して推進してきました。

また学校図書館と地域図書館を一体的に配置させ図書館の効果的な運用を図れるよう学校と地域の連携を推進してきました。

どこの自治体におきましても、生涯学習の充実のために図書館に対するニーズは高まっております。

皆様もご承知のとおり、今年、新発田市は駅前に素晴らしい図書館をオープンしました。去年は聖籠町、一昨年は阿賀野市の水原中学校市民図書室が開館するなど新たな図書館環境が生まれてきました。

本市では、さらに安田地区の支所の改築に合わせて平成31年3月に新しい図書館をオープンさせる計画があり、施設の充実を図っていく、(図書館協議会)委員の皆様のご意見を伺いながら、あるべき図書館の施策を地域の皆様方のニーズに応えるよう取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくご審議をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。

<p>田澤課長</p>	<p>図書館協議会の任期が10月31日で満了となりました。 4名の委員の方に再任をお願いし、新たに4名の方々から委員をお引き受けいただきました。本当にありがとうございました。 初めて顔を合わせる方もいらっしゃるかと思いますので、始めに委員の皆さまから自己紹介をいただき、その後事務局職員の自己紹介をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。 (土岐委員から順次自己紹介を行う)  (事務局職員から順次自己紹介を行う)</p>
<p>田澤課長</p>	<p>それでは、次第3委員長・副委員長の選出に移らせていただきます。阿賀野市図書館協議会規則第2条第2項に定めがござまして、委員長、副委員長の選出については委員のみなさまからの互選ということになっております。挙手にてご推薦、立候補などお願いします。  (特に発言はなし)  それでは、よろしければ事務局提案として、委員長に土岐章夫委員を提案させていただきますがよろしいでしょうか。 (承認され委員長は土岐委員に決定する) ありがとうございました。  次に副委員長であります桃井玲子委員を提案させていただきますがよろしいでしょうか。 (承認され副委員長は桃井委員に決定する)  それでは委員長は土岐委員さん、副委員長は桃井委員さんよろしくお願いいたします。お席のご移動をお願いします。  新たに委員長、副委員長が決まりましたので、一言ずつご挨拶をお願いします。 (土岐委員長・桃井副委員長が挨拶する)  ありがとうございました。特段、不都合等がなければ今回の任期であります、平成30年10月31日まで委員長・副委員長をお願いいたします。それでは、阿賀野市立図書館協議会規則第2条第3項の規</p>

	<p>定に基づきまして委員長に議長をお願いし、議事進行についても併せてお願いいたします。</p>
土岐委員長	<p>それでは議事に入ります。議題（1）平成27年度図書館統計の実績報告について事務局の説明をお願いします。</p>
山寄係長	<p>議題（1）平成27年度図書館統計の実績報告（資料1）について説明</p>
土岐委員長	<p>大変ありがとうございました。細かい分析で比較も出ています。どこからでも良いですので、ご質問はありますでしょうか。</p>
榎本委員	<p>8ページの※印のところで、中学生の昼休み利用の数値8,510人から13,557人に増えた理由はなんのでしょうか。そのために取組されたことなどはありましたか。</p>
山寄係長	<p>まず初年度（平成26年度）については、金曜日が水原中学校市民図書室の休室日にあっており、休室日は中学生も利用できないことになっていました。</p> <p>中学校の中に図書室があるのに、利用できない日があるということは中学生に申し訳ないと思い、平成27年度から中学生に限り、金曜日のお昼休みだけ利用できるようにいたしましたので、そのあたりで増えていることもありますし、平成27年度は1年生の利用が多かったです。年度によっては若干のバラツキがあるようです。</p>
榎本委員	<p>中学生の昼休みは何時から何時まで利用できるのでしょうか。</p>
山寄係長	<p>1時10分から40分までの30分間です。その時は、中学校の図書室の仕切りを開放してどちらでも利用できるようになっています。</p>
榎本委員	<p>ありがとうございました。</p>
土岐委員長	<p>そのほかございませんでしょうか。無いようでしたら私のほうからひとつ伺いたいと思います。</p> <p>2ページになります。実績報告の職員数ですが、資料を見ますと正規職員の司書の人数は2人ということになりますか。</p>

山寄係長	<p>正規職員は2名ですが、司書は1名となります。</p>
土岐委員長	<p>正規職員が2名で、全体では10人になると思いますが、臨時職員の人たちによって図書館が支えられていることなるかと思います。</p> <p>臨時職員の立場で見たら、(自身の)人生設計が立てにくい状況に置かれていると思います。それは同じ仕事をしていながら給与の待遇が違うということと、もうひとつは図書館の視点から見た場合ですが、図書館のノウハウは職員の方に蓄積されていくわけですが、本当に責任をもって、また自分の夢をもってやれる客観的な保障が与えられている職員が二人しかいないのは、ちょっと厳しいかなと思っています。</p>
田澤課長	<p>そうですね。正規職員数が少なくて臨時職員が多いというのは、以前からずっと続いてきている状態でありました。</p> <p>以前の臨時職員の雇用形態については、通年雇用が可能な時期もありましたが、市の方針として1か月の未任用期間や(5年経過による)雇い止めにより、制約をかけていました。</p> <p>その中で(臨時職員の)その期間があるということは、図書館を運営していく中で非常にディメリット(障害)になっているということで、何とか通年で雇用ができないものかと協議・検討してきました。</p> <p>それで来年度からの予定ですが、司書資格のある職員を嘱託として雇用することを考えています。そうしますと給料についても若干上がりますし、それ(1か月の未任用期間)がなくなり、安定した人的体制で図書館運営が可能となってきます。</p> <p>あとは、仕事に対して目標や夢をもってということにつきましては、やはり、本が好きだということで希望される人が多いので、その気持ちを最大限尊重しながら仕事のお手伝いをさせていただいていることでありますので、例えば仕事へのスキルアップのために、毎年行われています県の研修会や図書館主催の研修会などの参加機会を提供している状況であります。</p>
山寄係長	<p>来年度から嘱託として雇用するため、1か月の未任用期間がなくなりますが、単年度雇用であることには変わりはないので、これから嘱託司書のモチベーションをどのように上げていくのかが難しい部分でもありますし、また今後の図書館を考えた時に、職員の育成という部分で、先ほど委員長さんのお話にありましたように培ったノウハウ</p>

土岐委員長	<p>をどう受け継いでいけるかについては、厳しいと考えています。</p> <p>今市役所の職員の中で司書資格を持っている者が数名いると聞いていますが、ここで勤務している者は私だけになります。</p>
榎本委員	<p>ありがとうございました。教育長さんには人事面でサポートをよろしくをお願いします。特に臨時職員への研修の機会は同等に保障していただきたいと思います。そのほか何かございますでしょうか。</p>
山嵯係長	<p>図書館について専門的なところは一般の人はお手伝いできないと思いますが、いわゆる図書館の応援団といいますかボランティアを専門業務以外での活用する方針、現在活動しているボランティア団体も含めてありますでしょうか。</p>
土岐委員長	<p>今、図書館で活動しておられるボランティアとしては、隣の席におられます江部委員さんもそうですが、読み聞かせボランティアの方がいらっしゃいます。京ヶ瀬村立図書館時代の平成 11 年頃からずっと活動してくださっています。他の図書館では配架ボランティアというものもあるようですが、当館ではありません。</p>
江部委員	<p>ボランティアさんの活用についても今後の打開策につながると思います。</p>
土岐委員長	<p>今ほどボランティアの話がでましたが、私は安田地区に住んでいながら京ヶ瀬のこの図書館で活動をしています。安田図書館と笹神図書館には図書に携わる職員がおられないことから、地域の方から運営ボランティアとして手伝ってもらえればより活発になると思います。</p> <p>今後は、図書館に携わる正規職員を配置して欲しいのと、幅広く地域のボランティアの人たちを活用した図書館運営をして欲しいと思います。</p>
渡邊主任	<p>続きまして議題 (2) 平成 28 年度事業実施報告について事務局より説明をお願いします。</p> <p>(2) 平成 28 年度事業実施報告について (資料 2) 説明</p>

土岐委員長	<p>ありがとうございました。何かご質問等がありましたらお願いします。</p>
桃井副委員長	<p>新春かるた大会という事業は今傍聴されている天野さんから聞いて初めて知りました。私は百人一首が好きですが、今の子どもたちや親御さんたちは（百人一首が）あまりわからないし、触れ合わないと思います。良い事業を行っていただいたと思うので、実際どのような時間で行われたのか、また関わった人たちについて教えていただきたいと思います。</p>
渡邊主任	<p>時間的には午前10時から12時の間です。百人一首とかるたを用意しました。かるたは小さい子どもたち向けです。小学校の中学年以上から大人までは百人一首ということで、別れて対戦しました。</p> <p>今年度はいろんなかるたを持ち寄って保護者の方から札を読んでいただきまして、いっぱい取った人が勝ちということです。</p> <p>百人一首は図書館職員や大人の方から読んでいただきました。百人一首は時間がかかることから、何回もできませんでした。ここにおられる天野さんから札の取り方を教えてもらったりして、良い機会だったと思います。</p>
桃井副委員長	<p>百人一首の参加者数とか年齢はどのくらいでしたか。</p>
渡邊主任	<p>参加者が少なく子どもは5～6人位で小学校3年生位からでした。</p>
桃井副委員長	<p>私も百人一首が大好きで、すごくいい遊びだと思っていますので、これから子どもたちに興味を持たせたいと思っています、好きな人たちと協力して盛り上げて参加人数を増やしていければと思っています。</p> <p>来年度も実施される予定となっているので、協力できることがあったら協力したいと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
土岐委員長	<p>ありがとうございました。このような活動が図書館を拠点にして幅広いひとに呼びかけ、広がっていくことは素晴らしいことと思っています。</p> <p>平成28年度の活動報告について何かご意見はありますか。</p>

岩村教育長	<p>水原中学校市民図書室の開館当初の頃、中学生がうるさくて、ゆっくり本を読んでいられないという市民からの苦情が随分あったように聞いていましたが、最近はどのような状況ですか。</p>
山嵯係長	<p>平成 27 年度は落ち着いていましたが、年度ごとに変化があり平成 28 年度が若干騒がしい状況です。</p> <p>絵本コーナーの吹き抜け部分から体操着や物が落ちてきたり、最近では唾が落ちてきたという話もあります。</p> <p>見つければ職員は注意しますが、目が届かないところにあるため常駐している職員が二人しかいないので、対応は難しい状況です。</p> <p>(吹き抜けの絵本コーナーは) 設計士さんの思い入れがあって造ったコーナーで良い部分もありますが、私たちとしても (人が入っていないということもあり)、絵本コーナーを活かし切れていないところもあります。</p> <p>郷土資料コーナーも吹き抜けになっています。ここは寒さ対策のためビニールを張ってありますので、上から物が落ちてても下までは落ちず、止まるようになっていますが、絵本コーナーはそのまま落ちてきます。</p>
岩村教育長	<p>校長先生には私のほうからも伝えておきますが、現場の方でもやり取りしていただきたいと思います。</p>
土岐委員長	<p>(これは) 単なる中学校の生徒指導の問題だけではなくて、図書室を利用している大人たちに関しても社会的な責務を負ってもらう必要があると思いますので、うるさかったら注意し、目に余ったら学校の職員室の方に連れていくことも来館者もやっていいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>そのほかございますでしょうか。</p>
田澤課長	<p>補足説明ですが、図書館の利用者数が減少している状況にあることから、今年度から図書館の取組として平日の開館時間を 4 月から通年午前 9 時半から午後 7 時までとしました。また、祝日についても開館することにいたしました。そして、図書の貸出冊数についても 5 冊から 10 冊に増やすなど拡大を図り、利用者しやすい取組を行いました。</p> <p>この取組による結果 (成果) についての数値はまだ出ていませんが、来年度以降の材料として考えていければと思っています。</p>



土岐委員長	ありがとうございました。他にになにかございますでしょうか。
榎本委員	勉強不足で教えて欲しいのですが、水原中学校市民図書室は中学生と一般市民とが触れ合える点で、すごく新鮮な試みだと思っています。一方では、中学生に対する学習効果として直接（中学生に）話をする機会があるということですが、（図書室で）中学生を相手にした事業はあまり見受けられませんが、当初から中学生より、周りの大人、一般市民をターゲットにしているというイメージで図書室があるということで理解してよいのでしょうか。
山岸係長	<p>もともとは水原公民館の図書館が移ったという面もありますが、せっかく学校の中に図書館があるという素晴らしい環境を与えていただきましたので、中学生に対しての事業も考えていきたいと思えます。</p> <p>資料の方には掲載されていませんが、中学校の読書週間の際にはクラスごとに朝読書に入らせてもらい、読み聞かせを行っています。ゆくゆくはブックトークなども考えています。新館ができる前は常駐していた司書がクラスごとにブックトークなどを行っていましたが、現在は実施していない状況です。市民図書室として中学生に対してどのような働きかけができるのか中学校と連携を深めていきたいと考えています。</p>
土岐委員長	ありがとうございました。
山岸係長	この他、中学生の職業体験の受け入れを市立図書館と市民図書室で行っています。
土岐委員長	ゆりかごから墓場までといますが、この図書館の取組はゆりかご前の新しいママ、プレママから行っています。ゆりかごから墓場までの取組を一気に望むというのは厳しいところはあると思いますが、段々と視野を広げていただき、 <b>創意的な取組み</b> もできていくと思いますので、よろしく願います。そのほかございますでしょうか。
江部委員	今の山岸さんからのお話を伺って、水原中学校の生徒さんたちに対してはいろいろと働きかけをされているようですが、京ヶ瀬、笹神、安田中学校には何か取組をされていますか。

山寄係長	<p>同じく職業体験の受け入れや総合学習で必要としている本の調査相談を行い、団体貸出を行っています。読み聞かせなどは現在依頼がない状況です。以前、京ヶ瀬時代には京ヶ瀬中学校に訪問して読み聞かせをしたことはあります。</p>
江部委員	<p>中学生になると、水原中学校に行くというと他の3校の生徒は多少抵抗があるというか。足を運ぶ機会が減ると思います。</p>
山寄係長	<p>水原中学校の生徒さんたちにとっては、学校の中に市民図書室があるということは非常に恵まれた環境であると思います。</p> <p>市民図書室が学校の中にはいる経緯のひとつとしては、阿賀野市には学校司書が配置されていないということもあります。まずは水原中学校に市民図書室を作り、そこから図書館職員が各中学校に働きかけをしていければと考えています。</p> <p>しかし、日常業務に追われていて、実現できていない状況ですが、ゆくゆくは考えていかなければならないと思います。</p>
土岐委員長	<p>はい、図書館の職員のみなさんに要望が次から次へと出てきます。その意味でも図書館の正規職員を増やしていただけたらよりよい図書館になると思いますので、よろしくお願いします。</p>
長峰委員	<p>新春かるた大会とか百人一首の話がありましたが、中学生への働きかけとして参加はあったのでしょうか。</p>
渡邊主任	<p>呼びかけはしましたが、参加はなかったです。</p>
長峰委員	<p>呼びかけはしているんですね。呼びかければ、興味のある子たちは参加するのかなと思いました。新春かるた大会だと大きな感じがして参加しにくい感じがします。初心者でもできそうな呼びかけや指導などがあれば興味のある生徒は参加するのではと思います。</p>
山寄係長	<p>図書館資料を少しずつ学校の中に潜り込ませたいという考えはあるのですが、中学生は忙しいので、どういうタイミングで提案したらいいのか考えあぐねているところがあります。</p>

長峰委員	事業の取組は正規職員でないと中々大きな企画では立てられないですよ。
山嵯係長	図書館の臨時職員は意欲的で、力になってもらっていますが、お願いできる部分には限りがあり、正規職員しかできない部分も多くありますので正規職員の増員が望まれるところです。
土岐委員長	ありがとうございました。それでは平成 28 年度の活動についてはこのあたりでご了承いただけますでしょうか。  (出席委員より了承する返事あり)
土岐委員長	次に平成 29 年度図書館事業計画(案)について説明をお願いします。
山嵯係長	(3) 平成 29 年度図書館事業計画(案)について説明
土岐委員長	ありがとうございました。平成 29 年度図書館事業計画についてご質問などがありましたらお願いします。
江部委員	あがのポイントは一回貸出で付くのでしょうか。
山嵯係長	5冊以上の貸出で10ポイントです。 これについては、4月1日のお知らせ版に掲載する予定です。また館内においても周知していきます。
江部委員	(このサービスは)水原中学校市民図書室と市立図書館だけですか。
山嵯係長	市立図書館の利用者が落ちていることから、試行という意味も含めて、市立図書館のみの実施です。
土岐委員長	その他何かございますでしょうか。
榎本委員	(3)の図書館サービスの利便性向上で、笹神図書館のデータベース化についてですが、(図書館業務)多忙のこととは思いますが、優

土岐委員長	<p>先的にもし取組んでいただけるのであれば、私的には郷土資料からスタートしていただけたらありがたいです。</p> <p>ありがとうございました。他にございますでしょうか。</p>
鈴木（正） 委員	<p>(2) の児童サービスの充実のところの2番目、「総合学習に対応した資料の充実および児童生徒の研究・学習の支援に努める。」ということですが、学校としては是非お願いしたいところです。</p> <p>それで資料等の充実に関しては、学校とどのような手順で資料を充実させているのでしょうか。</p>
山嵯係長	<p>学校の方から団体貸出でご依頼をいただく内容が年間を通してある程度決まっています。毎年6月に新潟市内で児童書の展示会がありますので、その時に不足している分野や利用の多い分野を優先して購入するようにしています。</p>
土岐委員長	<p>学校の団体貸出は結構利用されているのでしょうか。</p>
山嵯係長	<p>学校によって差はありますが、利用させていただいております。</p> <p>ただ、図書館から学校に資料を配送するシステムが出来ていないため、用務員さんから取にきていただいたり、どなたかから来ていただかなければならないため、ご不便を掛けています。</p>
土岐委員長	<p>他に何かございますでしょうか。</p>
江部委員	<p>子ども事業として図書館側では、お母さんと一緒に企画するもので、例えば安田図書館ではこいのぼり作り、まゆだま作りがありますが小学生向けの事業が少ないように思います。小学生にあがると小学生自らが図書館に行く機会が中々ないかと思えます。</p> <p>例えば小学校1年生に上がったら、クラフトではないですが、今まで京ヶ瀬図書館の時にあったカバンのようなものを自分たちで作って、それをもって地域の図書館に足を運んでもらって本を借りる取組をやってはどうでしょうか。</p>
山嵯係長	<p>小学生向けの事業は比較的夏休みに集中しています。今ほど貸出バックの話がありましたが、貸出バックほど大きくはないのですが絵本</p>

土岐委員長	<p>カバーを使ってギフトバックを作る仕事を、以前安田図書館で実施したことがありました。ギフトバックということで今年度クリスマス時期に計画をしましたが、同じ課の事業と重なって申し込みがなく、中止となった経緯があります。</p> <p>新聞紙を使っても貸出バックをつくれるようなので、これから検討して実施できればと思います。</p> <p>ありがとうございました。その他何かございますでしょうか。</p> <p>思いついたものでも結構です。こんなものがあれば図書館活動に活用がもっと豊かになるようなものがありましたらいかがでしょうか。</p> <p>無いようでありますので、どうもありがとうございました。</p> <p>全体としては図書館協議会の協議は終了したいと思います。ありがとうございました。</p>
土岐委員長	<p>5. その他として榎本委員からご提案をいただきましたので、説明をお願いします。</p>
榎本委員	<p>お手もとの資料をお願いします。これについては、図書館協議会の資料を事前に頂戴いたしました。その内容を拝見いたしますと少ない職員数の中でよくこれだけの内容のものを皆さん方がやっておられることに対しまして、敬意を表するものであります。</p> <p>しかし、中学生の図書の貸出のところを見ますと中々他の年代から比べると全然少ないため、何らかの方策みたいなものがないものだろうかということで、自分なりに無い知恵をしばりって作ってみました。</p> <p>中身については、水原中学校市民図書室の昼休みの時間 30 分を利用して中学生にどのように自分に対しての郷土への意識を高めて、なお且つ勉強自体に対しても図書館が力になっていくような取組ができないかどうかに関連するものです。</p> <p>まず一番上の図ですけれども、市立図書館が昼休み 30 分を利用して調べ学習の動機づけをやってあげたらどうか。そこから先はサイクルが左周りにぐるぐる回っていきます。</p> <p>例えば下の調べ学習の動機づけとしてどういうものがあるのかを考えてみました。「昔がたり」、「郷土の昔ばなし」、「昭和の暮らし」、「戦時中の暮らし」などこういったことを昼休みの 30 分に中学生相手にやってあげたらどうか。</p>

例えばこの中で「戦時中の暮らし」では年配の方々が、当時小学生位で非常に苦勞されたと思います。そういった（体験から）ことから、平和について「学ぶ」きっかけになるかも知れないということで、「学び」のサイクルに進んで行きます。そこで市立図書館としては、図書の貸出という形で平和に関連する一連の図書を中学生に貸出をするということが考えられます。

そしてそれをベースに「意見交換」に回っていきます。「意見交換」については、やはりひとりの思い入れだけではなかなか出来ないこともあり、友人同士の「意見交換」によって「学び」がより具体的になって、現実化してくる部分があるのではないかとということで、後でディベートということで入れさせていただきますが、そういった次元があるだろう。それで「意見交換」をやったあとで矢印が二つ「学び」と「意見交換」と対立した形で書いていますが、今度は矢印が二つくっついて書いています。これは「実地体験」の方に向かっていきます。

それで「意見交換」を踏まえた上で実際に自分たちもそこへ行って、自分の目で確かめてみようといった形に進んでいけば非常にしめたもので、学習効果は高くなると思います。

ここでは「見学」で、市内機関等としては、例えば「吉田東伍記念博物館」や「郷土博物館（資料館）」といった関連のすごい施設がありますので、（中学生から）足を運んでいただくのがよいのかなと思います。

そのところは、市立図書館としては、聞いたときにアドバイスしてあげる。そして更に矢印が向かっているのは新たな興味関心のスタンスに入っていきます。このサイクルを回しているのは、左サイドに書いてあるようにサイクルを動かすのは中学生個人という考えで、あくまで市立図書館としては受け身の形で、ただし最初の調べ学習では動機づけをやってあげるとここで学習の効果が一つのサイクルとしてぐるぐる回ってくるのではないかと考えています。

下の調べ学習の動機づけの案なんですけれども、先ほど「昔がたり」のことを申し上げましたが、今度は右上の「郷土の偉人伝」ですとか、「発酵の知識」として、阿賀野市は酒造りがいろんなところにあります。

また醤油づくりも有名ですし、パンの発酵もやっています。そのようなことで「発酵の知識」は世界的に見ても日本は特別に進んでいるところだと思いますし、例えば、私も食べたことがあります。フグの卵巣の毒抜きなども発酵の技術でやっている。佐渡あたりでもやって

いると聞いたことがあります。

以前私も石川県に住んでいたんですが、北陸独自のもの、阿賀野市独自のもの結構ありますので、そういったものを中学生に対しては、いわゆる業者ベースではなくて、勉強ベースで、つまり理科を勉強している中で「発酵」とはどういう作用なんだろう、どういう仕組みなんだろうという形で教えていくような人を先生に立ててやったら非常に面白いと思います。実際先生は、阿賀野市の中に沢山いらっしやいます。同じように「自然の理解」として、例えば阿賀野市は温泉が有名ですし、地質に関しても非常に特有な地質を持っています。そういったものを、阿賀野市はどうして温泉が有名なのか。地質が有名なのかを理解をする先生を立てていけば、理科の勉強に非常に役に立つのではないかと考えています。

あと下の方ですが、パワーポイントを使った話、使わない話といろいろあるかと思いますが、直接的効果としては郷土や産業に愛着を持つという派生的効果がとても大事だと思います。図書の貸出が増加するだろうと。逆矢印を書いています。これは大事なことなんですが、おはなし会のパンフレットを作成していただく方に参考図書の明示も一緒にしていただくと非常に大変ありがたいです。例えば図書館で調べていただいて、図書館の方と相談しながら、その一覧の中に入れていただくと、調べ学習とそれに続く議論の参考になるというふうに考えております。

一番下の方に世代を超えた交流、年配者にとっては生きがい創設になると書いてあります。特に「昔がたり」は、年配者が中学生に話をするのは貴重な機会になると思いますし、ご自身も準備されますので生きがい創設、そして健康面でもいいのかなと考えております。裏の方はですね、ディベートを参考までに書いてみました。ここまでできるかどうか分からないところもあると思いますが、右側の方にディベート体験、主体的で対話的で、かつ深い学びをこのディベートの中でやったらどうかということです。

例えば、「人と違った個性をもつということは良いことなのか悪いことなのか」ということを子どもたちで争わせる訳です。参考図書を読む時間を確保して行かせます。様々な意見が子どもたちの目線が出てくることを期待したい。最後は講師が民主主義の歴史の話をする。金子みすずの「みんな違って、みんないい」のようなテーマで生徒それぞれ主体的な考えで導き出してくれたら非常に成功なんだと考えて、一つの例として「例えば」ということを入れて見ました。

	<p>ディベート体験の詳細としては、下の方に書いていますがサッカーに近いルールを採用しまして真ん中辺りに書いてありますようにワンテーマについて前半は賛成に回り後半は反対派に回るというかたちで、自分の意見だけではなくて、別の意見、考え方があるというところに接してもらうことに非常に意味があるのではないかと考え、一つの「案」として考えております。これを実際やるとなると中々大変なんですけど、(私も含め)何か協力していきたいと考えております。</p> <p>上の方に戻りますが、締めくくりとして左側に「新たな発見」、「真剣に向き合う」、「楽しい体験」、の頭文字をとりまして「あ・し・た」とキーワードは未来を見据えたラベル。「あ・し・た」としました。</p> <p>すみません。長くなりました。 以上です。</p>
土岐委員長	<p>ありがとうございました。ディベートにしましても調べ学習にしましても、今の子どもたちに求められている大事なところだと思っています。ただ(提案)これを、市立図書館を真ん中に置いて・・・。</p>
榎本委員	<p>これは市立図書館ではなく水原中学校市民図書室です。</p>
土岐委員長	<p>これを真ん中に置いてどういう具体的な形になっていくのか、ちょっと見えないところがあるんですけど、榎本委員の方からせっかく提案をいただきました。</p> <p>例えば、それこそ榎本さんを講師にして地域の気象の問題、雪とかだしの風とかの問題を(資料を集めて)やることは子ども達にも良い勉強になると思います。ただこれを今すぐやるとなるとちょっと難しいところがあると思います。どうでしょうかね。何か中学校とタイアップしながら進めてみませんか。</p>
榎本委員	<p>はいありがとうございます。</p>
土岐委員長	<p>ということなんですけど、よろしいですか。</p>
岩村教育長	<p>(今の提案について) 中学校の方が触手を動かすような、何らかの働きかけをしていかなければならないと思います。やって見ることは大変望ましいことだと思います。</p>



土岐委員長	<p>学校や図書館にとっても地域の色々な力がありますので、それらを十分活用していただくという点では、学校にとっても良い取組になると思います。もしこれができた場合ですが、その辺今すぐやって下さいということでもありませんが、こういう形で中学生の力にでもなっていくのかなと思います。このまま（提案を）置いておくのではなく、榎本さんあたりの力を借りて中学校の方に提起していくことも今は必要な段階かと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>いかがでしょうか。学校の方は何か無理がありますか。</p>
岩村教育長	<p>科学研究発表が夏休みのテーマで取り上げていますので、理科の先生と話をしてみたいと思います。段階を追って進めていかれたらいかがでしょうか。</p>
榎本委員	<p>是非ご指導をお願いします。</p>
土岐委員長	<p>具体的に図書館活動を豊かにしていただく提案がありました。皆さんからも話をしてもらいたかったところですが、時間も限られておりますので、このあたりで今年度の図書館協議会を終わらせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。はいどうもありがとうございました。</p>
田澤課長	<p>大変どうもありがとうございました。今日、最後に榎本さんの方からから中学生を対象にした新しい調べ学習のご提案がありましたので、何とか協力しながら実現して進めていければと思いますし、中学生自身にとっても新しい体験をします。その体験を積み重ねていけば何か生まれていくような気がします。今日は忙しいところありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。</p> <p>以上を持ちまして図書館協議会を終了いたします。</p> <p style="text-align: right;">午後 4 時 30 分 閉会</p>